

若林障害者福祉センター

障害者福祉「キャップハンディ体験」教室を開催しました

令和3年9月3日
仙台市若林障害者福祉センター

去る令和3年9月3日（金）、仙台市立沖野小学校体育館にて、障害者福祉「キャップハンディ体験」教室を開催しました。

今回は沖野小学校4年生56名の児童に対して車いす体験を行いました。

体験後、児童たちからは、「声をかけてもらって安心してできました」「実際に車いすに乗ってみるとスピードが速く感じました」「段差を超える時、車いすが持ち上がると落ちそうになってびっくりしました」などの感想が聞かれました。また、「腕の不自由な人はご飯を食べる時はどうしていますか」「体の不自由な人がお風呂に入るときはどのようにしていますか」「車いすで転んでしまったらどうやって起き上がりますか」など、様々な質問があり、回答を聞く際は真剣に話しを聞いていました。パラリンピック開催中の影響もあり、児童たちは車いすを使用して生活されている方々について、興味や疑問を抱いている印象を受けました。

今回の体験教室が児童たちにとって障害理解の促進と豊かな感性を育むよい時間となったのではないかと思います。

